

熊本総合病院 島田 信也 病院長に聞く



しまだ しんや/1955(昭和30)年1月20日生まれ68歳。八代市榎柳上町出身。熊本高校—熊本大学医学部卒。88年から4年間、米国・ワシントンDCの国立がん研究所に留学。国立熊本病院、熊本大学医学部附属病院、熊本市市民病院勤務などを経て、2006年10月から現職。13年1月からは改称した熊本総合病院初代病院長。専門は消化器外科、腫瘍外科

総事業費約100億円の「北館」が運営開始

「ストック型まちづくり」で地方創生狙う

熊本総合病院 島田 信也 病院長に聞く

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）熊本総合病院（八代市通町、島田信也病院長）が総事業費約100億円をかけ北側に増築していた「北館」が3月1日から運営を開始した。同館には健康管理センターや内視鏡センター、腎センターなどが移転し、両館を併せた建築面積は増築前から約1・8倍に拡充。利用者の利便性向上のみならず、職員のモチベーションアップにも寄与し、質の高い医療の提供にもつながっている。また本館建設以来、SDGs以前から「価値あるレガシーを後世に残す」ストック型まちづくりを展開（島田病院長と地域包括ケア推進に向け、すべての世代で支え・支えられるネットワークを形成する「まちづくり」で地方創生も狙う。島田病院長に北館建設の経緯や狙い、新型コロナウイルス5類移行の受け止め、注力する取り組みなどを聞いた。（6月8日取材、編集部・堀悟史）

「健康管理センター」を集約し本館と一体化

— 本館北側に増築されていた「北館」が今年2月に竣工し、3月に運営を開始しました。同館建設の経緯や狙いをお聞かせください。

島田 現在の本館は2013年2月にオープンしましたが、

敷地面積が旧病院の半分程度で市の高さ制限もあったため各科が手狭だったこと、さらに14階ホールに全職員を収容できず、行事などが行えないことが課題とされてきました。そこで外来・化学療法部門、健康管理センタ

1、内視鏡センター、腎センター、手術センター、各種会議室、研修室・倉庫、当直室、ホールを集約し、質の高い医療の推進を図ろうと本館のオープン当初から北館の構想を描いていました。

— 北館の概要やフロア構成は。

島田 総事業費約100億円をかけた北館は本館北側の駐車場所に建設し、建物は鉄骨構造5階建て、延べ床面積1万5508㎡です。本館と合わせた建築面積は1万1857㎡と増築前から約1・8倍拡充しています。フロア構成は1階が駐車場とエントランスホール、2階が集約した健康管理センターと内視鏡センター、生理機能検査センター、3階が腎センターと人工透析治療室、4階が人間ドック控室と研修室、職員用施設

5階が大ホールと会議室です。また、2階と3階には本館との連絡通路を設置しています。

— 北館建設にあたって力を入れた点は。

島田 既存の本館と一体化した建物にするため、デザインや色合いを調和させました。そして来院された方々に癒しを与えられるよう、2階の健康管理センターの待合室には宮崎の高千穂峽をイメージした「アクアテラリウム」を設置しています。

また、1階エントランスホールには当院のロゴマークにも使われ、医療の神様とも呼ばれる「アスクレピオス」の噴水を設置しました。

— 北館の運営開始からやがて3カ月を迎えました。手応えや効果などは感じますか。

島田 利用者の皆さまからは「廊下の幅が広いので車椅子が通りやすい」、「アクアテラリウムを見ていると癒される」、「一人がけの椅子が大きくてゆつたりと座れる」といったお声をいただいています。また、健康管理センターや内視鏡センターが広く綺麗になりゆとりが持ったことで、職員のモチベーション

アップにもつながりました。良い環境下でプライドを持って業務に臨め、これまで以上に質の高い医療が提供できる相乗効果も現れています。

今年2月には本館オープンから10年の節目を迎えました。前身の旧八代総合病院は建物が老朽化し利用者の方々からの苦情が後を絶たず、また2006年頃は累積赤字が7億円近くも上り「熊本で潰れる病院ナンバーワン」と噂されるほど苦境に立たされていきました。

— このような状況を脱却し、職員がプライドを持って医療を提供するには「質の高い高度急性期医療を提供する建物」が必要

と考へ、本館の建設や職員の意識改革に取り組んできました。その結果、職員のモチベーションアップや利用者の方々へのサービス向上につながり、現在当院が所属する独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）グループではトップを走る病院収入を達成しています。

本館や北館を建設し働く環境を整備することは、職員がプライドを持って質の高い医療を提供できること、利用者満足度の向上につながることを、そして後述しますが「まちづくり」にも大きく通じてきます。



▲3月25日に北館5階のホールで開いた北館竣工パーティー。浦島郁夫知事や中村博生八代市長、小川久雄熊本大学学長、金子恭之衆議院議員など約200人が出席した

23科目、420床の総合病院展開

— 続いて熊本総合病院の現況について伺います。現在の診療科目や病床数、職員数は。

島田 診療科目は内科全般のほか血液内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓病センター（循環器内科・心臓血管外科）、腎センター（腎臓内科人工透析）、糖尿病センター（糖尿病・内分泌内科）、脳卒中センター（脳神経内科、同外科）、総合診療科、外科、呼吸器外科、整形外科、

耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科、婦人科、眼科、皮膚科、放射線科、病理診断科、麻酔科、がんセンター、内視鏡センター、救命救急部、健康管理センターの23科目で、病床数は一般416床、感染4床の合計420床、職員数は23年6月時点で正職員が589人、任期付・非常勤職員が177人、委託職員が144人の合計910人、このうち医師が71人です。

―病院の特色は。

島田 総合病院ですので日本人の4大疾病の「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」をすべて当院で完結することが大きな特徴です。またそれが使命だと思っています。

―5月8日から新型コロナウイルス感染症が2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類相当に移行しました。この動きに対して島田病院長はどのようにお考えですか。

島田 当院は「感染症指定医療機関」でもあり、私は県の新型コロナウイルス感染症対策専門委員会としてこれまで専門家会議に参加してきました。変異ウイルス株は通常の季節性インフルエンザよりも弱毒で感染者の約97%が軽症だったことから、「経済社会活動を取り戻すためには、新型コロナウイルスの感染症分類を5類への変更が適切」と1年以上前から会議で訴え続けてきました。その主張がようやく実現されたものだと感じています。

現在はインフルエンザ並の対応を行っています。また新たな変異株が発生する可能性も

口ではありません。感染症指定医療機関として感染状況の変化にいつ何時でも対応できるよう、またクラスターの発生を防ぐようさまざまな防御策を講じ、常に地域の皆さまが安心して医療を受けられる体制の整備に力を注いでいきます。

長寿命のまちづくりに注力

―現在、熊本総合病院が注力している事業や取り組みは。

島田 JCHOの使命の一つに「地域包括ケアの推進」が掲げられています。それには高齢者になっても住み慣れた地域で、安心して自立した生活を最期まで送れるよう必要な医療や介護、福祉サービスなどを一体的に提供し、すべての世代で支え・支えられるネットワークを形成する「まちづくり」が重要とされます。このまちづくりを実現するには「健康で安心なまち」「レガシー（世代から世代へ受け継ぐものごと）と魅力に溢れた後世にも誇れる住み続けられるまち」でなければなりません。

私は33歳から4年間、米国立衛生研究所で主任研究員とし

て勤務しましたが、約80年かけて作られたワシントンDCのまちづくりに感銘を受けました。日本では当たり前となっている「スクラップ・アンド・ビルド」では100年経ってもまちには何も残りませんが、初期のコストは発生しても後世に誇れるまちを作れば、住民はまちに対してプライドを持ち、意識レベルも高まり、地方創生にも貢献すると考えました。

このため当院では本館がオープンした2013年から公的病院が住民と国のためにできる地方創生を考え、質の高い医療と後世に誇れる長寿命のまちづくりとして「まちなか公的病院を核としたストック型まちづくり（八代モデル）」の推進を進めています。この取り組みが図らずも近年叫ばれている「SDGs（持続可能な開発目標）」と密接につながり、SDGs未来都市の実現にも寄与するのではと考えています。

―八代モデルの概要や展望は。

島田 当院のような長寿命のレガシー建築の「まちなか公的病院」を核に、そ

の考えに賛同した市役所や郵便局、警察署などの公共施設や銀行、リハビリ施設などが同様にレガシーを建設されると自治体の中心市街地は蘇り、高齢者は散歩しながら日常の生活やケアが可能になります。さらにその周辺に若いファミリー層が居住する文教地区を形成し、郊外に会社や工場を配置すれば、高齢者を大事にできる「地域包括ケアの推進」に向かって、後世のためにレガシーを残すこともできる実りある「まちづくり」が期待されます。

公的病院の使命は「医療の提供だけに留まらないこと」と考え、住み続けられるレガシーのまちづくりがSDGsの実現や閉塞・不安社会の突破口と思っています。八代モデルが今後の日本の国づくりにつながることを提唱していきたいですね。



▲1階エントランスホールに設置した、ギリシャ神話に登場する名医で医療の神様とも呼ばれる「アスクレピオス」の噴水